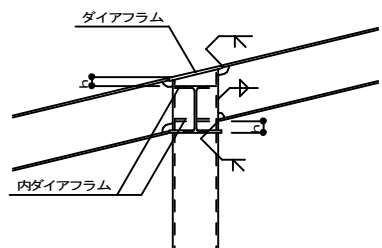
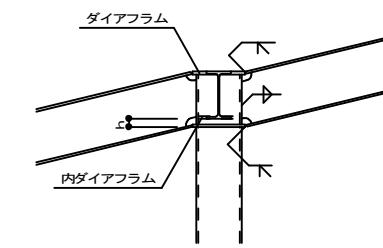
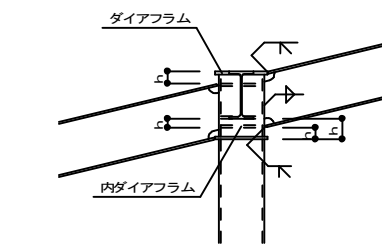
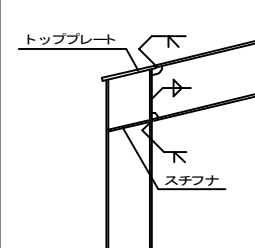
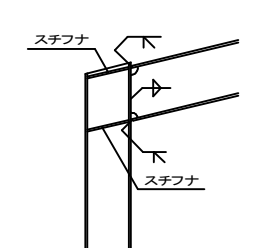
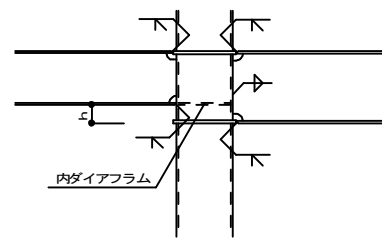
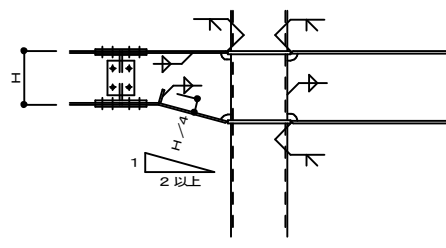
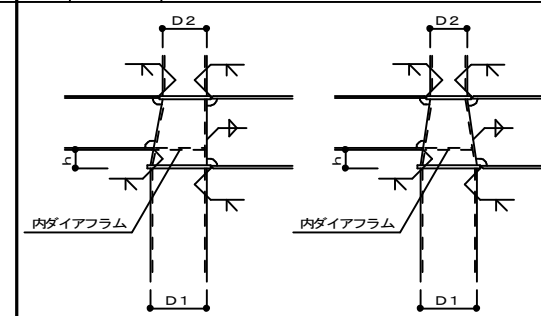
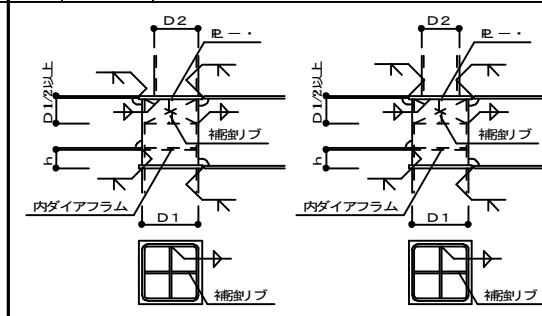
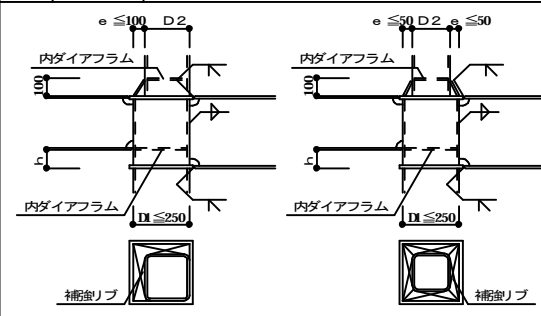
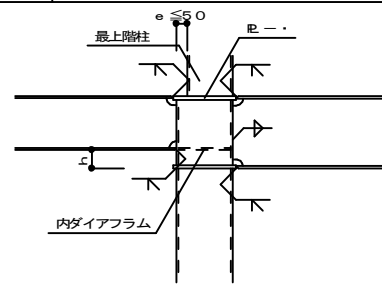
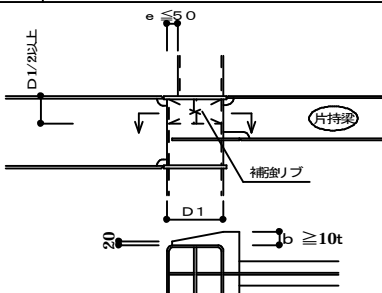
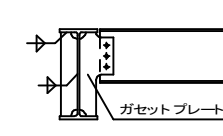
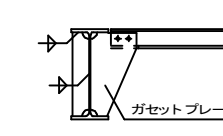
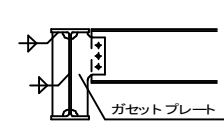
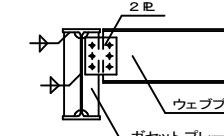
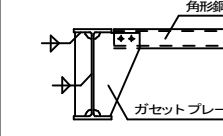
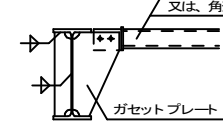
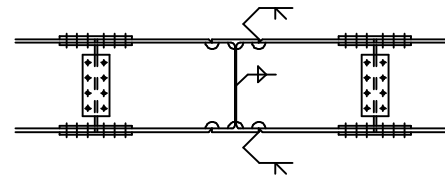
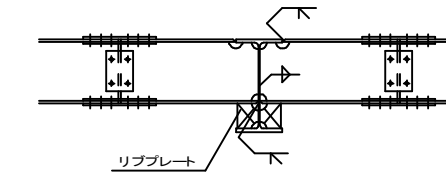
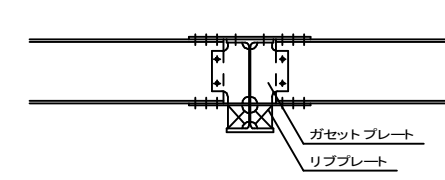
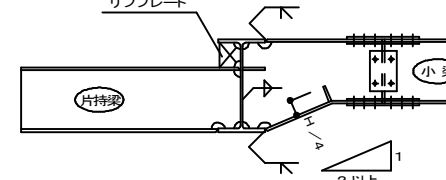
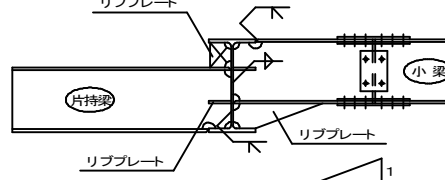


鉄骨部分詳細図

● 採用は☑印を記入

● A-1	山形ラーメン棟部継手(リブプレート付)	B-1	山形ラーメン柱頭部仕口	B-2	山形ラーメン柱頭部仕口	B-3	山形ラーメン柱頭部仕口	B-4	H鋼仕口部	● B-5	H鋼仕口部				
A-2	山形ラーメン棟部継手(リブプレート無)	 <p>ダイアフラム 内ダイアフラム</p> <p>h ≥ 100 の場合内ダイアフラムを使用すること。</p>		 <p>ダイアフラム 内ダイアフラム</p> <p>屋根のレベルは、小梁・母屋で調整すること。 h ≥ 100 の場合内ダイアフラムを使用すること。</p>		 <p>ダイアフラム 内ダイアフラム</p> <p>h ≥ 100 の場合内ダイアフラムを使用すること。</p>		 <p>トッププレート スチフナ</p> <p>トッププレート、スチフナ厚は、梁のフランジプレート厚同等以上とする。</p>	 <p>スチフナ</p> <p>スチフナ厚は、梁のフランジプレート厚同等以上とする。</p>						
C-1	柱・梁 仕口部	C-2	柱・梁 仕口部	C-3	異径管継手部(テーパ管形式)	C-4	異径管継手部(補強リブ形式)	C-5	異径管継手部(はかま形式)						
 <p>内ダイアフラム</p> <p>ダイアフラム厚は、梁のフランジプレート厚同等以上とする。 h ≥ 100 の場合内ダイアフラムを使用すること。</p>		 <p>補強リブプレート厚は、梁のフランジ厚同等以上とする。 ダイアフラム厚は、梁のフランジプレート厚同等以上とする。</p>		 <p>テーパ管プレート厚は、D1 柱の肉厚同等以上とする。 ダイアフラム厚は、梁のフランジプレート厚同等以上とする。 h ≥ 100 の場合内ダイアフラムを使用すること。</p>		 <p>補強リブプレート厚は、D1 柱の肉厚同等以上とする。 下端ダイアフラム厚は、梁のフランジプレート厚同等以上とする。 h ≥ 100 の場合内ダイアフラムを使用すること。</p>		 <p>補強リブプレート・D2 内ダイアフラム厚は、D2 柱の肉厚同等以上とする。 ダイアフラム厚は、梁のフランジプレート厚同等以上とする。 h ≥ 100 の場合内ダイアフラムを使用すること。</p>							
C-6	異径管継手部(折版屋根等の軽微な場合)	C-7	異径管継手部	D-1	小梁ピン接合	● D-2	小梁ピン接合	D-3	小梁ピン接合	D-4	小梁ピン接合	D-5	小梁ピン接合	D-6	小梁ピン接合
 <p>内ダイアフラム</p> <p>下端ダイアフラム厚は、梁のフランジプレート厚同等以上とする。 h ≥ 100 の場合内ダイアフラムを使用すること。</p>		 <p>補強リブ</p> <p>ダイアフラム厚(t)は、梁のフランジプレート厚同等以上とする。</p>		 <p>ガセットプレート</p> <p>プレート厚、ボルト径、本数は特記による。</p>		 <p>ガセットプレート</p> <p>プレート厚、ボルト径、本数は特記による。</p>		 <p>ガセットプレート</p> <p>プレート厚、ボルト径、本数は特記による。</p>		 <p>2E ウェブプレート ガセットプレート</p> <p>プレート厚、ボルト径、本数は特記による。</p>		 <p>角形鋼管 ガセットプレート</p> <p>プレート厚、ボルト径、本数は特記による。</p>		 <p>鋼管 又は、角形鋼管 ガセットプレート プレート加工 又は、CT</p> <p>プレート厚、ボルト径、本数は特記による。</p>	
E-1	小梁剛接合	E-2	小梁剛接合	E-3	小梁剛接合	E-4	小梁剛接合	E-5	小梁剛接合(折版屋根等の軽微な場合)						
 <p>現場接合部は特記無きかぎり保有耐力接合を採用する。</p>		 <p>リブプレート</p> <p>現場接合部は特記無きかぎり保有耐力接合を採用する。 リブプレート厚さは、梁のウェブプレート厚同等以上とする。</p>		 <p>ガセットプレート リブプレート</p> <p>フランジプレート厚、ボルト径、本数は保有耐力接合を採用する。 ガセット・リブプレート厚は、梁のウェブプレート厚同等以上とする。</p>		 <p>リブプレート 片持梁 小梁</p> <p>現場接合部は特記無きかぎり保有耐力接合を採用する。 リブプレート厚は、梁のウェブプレート厚同等以上とする。</p>		 <p>リブプレート 片持梁 小梁 リブプレート</p> <p>現場接合部は特記無きかぎり保有耐力接合を採用する。 リブプレート厚は、梁のウェブプレート厚同等以上とする。</p>							

変更事項	MEMO

<p>株式会社 西野設計</p> <p>鹿児島県出水市大野町272番地 TEL0996-63-3016</p> <p>知事登録第1-20-120号 一級建築士大臣登録 第189570号</p> <p>西野正憲</p>		<p>工事名 矢岳第2 牧場肥育舎新築工事</p> <p>図名 鉄骨工事標準図 その4</p> <p>縮尺</p>	<p>図面番号 B-04</p> <p>製図 西野 検印</p> <p>平成30年 7月 8日</p>	印
--	--	---	---	---